

1. 挨拶

新年度を迎えましたが、岩手県では新型コロナウイルスの感染者が高止まりの傾向にあり、まだまだ予断を許さない状況が続いています。プロ野球などのイベントでも観客制限がなくなり、春の桜祭りなども予定通り開催されるようです。盛岡の風物詩である「ちやぐちやぐ馬っこ」や「さんさ踊り」も今年は開催されるようです。さて当会の活動ですが、ここ2年間は対面式の事業が開催できませんでした。今年こそは何とか開催したいものです。幸いなことに、財)いきいき岩手支援財団の補助金申請も無事に認可されました。これから令和3年度の活動結果と令和4年度の活動方針について、皆さんにご審議頂く事になります。今年度も皆さんのご支援改めて宜しくお願い致します。

(事務局)

2. 3月・4月の事業内容

状況 新型コロナウイルスの感染者高止まりのため、3月、4月の相談会は中止とした。

今年度助成金の認定を受けて、令和3年度活動報告と令和4年度の活動計画について、役員会でメール審議する。

① 事業の実施及び実施予定

定例会（相談会） 3月、4月は開催中止

会報 5号発行 2月1日に発行

6号発行（5月1日に発行予定）

相談会対応メンバーで内容について確認

② ご近所支え合い活動助成金 について

令和4年度助成金交付決定通知書を受領した

事業名 高齢者等による地元企業の支援及び高齢者のための情報発信事業

交付決定額 110,000円

交付決定額をベースに令和4年度の活動計画案を策定

3. 会員紹介

藤田尚毅さん（相談会対応メンバー）

生まれは弘前市で、昭和45年に岩手大学工学部機械工学科を卒業しました。その後、東北学院大学工学部（多賀城市）に9年間勤務し、再び岩手に戻り母校に採用され32年間勤務。平成25年に無事定年退職しました。在職時の専門は内



燃機関や伝熱関連、特に小型の2サイクルエンジンで代替燃料や、デポジット堆積に関連した摩擦摩耗などを取り扱ってきました。退職後も非常勤で採用され、しばらくは機械工学や伝熱関連の4科目程度を担当していました。しかし後期高齢者に近づくにつれて少しずつ担当が減少し、現在は後期に1科目が残っているだけです。高齢になっても活力を失わないためには、社会とのつながりも必要と言われて、いわてシニアの会に加えていただき、4年ほど経ちました。その他のつながりとしては、大学の同窓会のお手伝いを少しだけ、駅前のスポーツジムに週2、3回、ボウリングのサークルに週1回通っています。ボウリングでは右肩、左膝の関節性能(?)が劣化してきたので、右投げから左投げに変更して数年。最初はまともに投げられずボロボロのスコアでしたが、最近はようやく150に届くかどうかのスコアになりつつあります。もう一つは、月1回の男の料理教室に参加しています。冬季はスキー教室に参加するということでお休みしていますので、実質的な料理の腕はまだ上がっていないようです。でも、後片付けだけは要領が良くなってきたようで、家庭での食器洗いなどは苦にならなくなってきました。料理教室は上田公民館で第4土曜に開催していますので、いわてシニアの会の会員にもお勧めですよ。

千種成友さん（相談会対応メンバー）

盛岡生れの盛岡育ちです。航海計器メーカーに約40年間勤務していました。40代前半迄は研究開発を、その後は工場全体や営業全体そして事業全体を見る仕事に関わりました。客先となる造船所の世界のメインが日本から韓国・中国へ移った事や、国際規格がヨーロッパ勢中心に作られている事、海外との技術提携が多かった事等から、韓国・中国・ヨーロッパ・アメリカ・カナダ等に計60回以上出張しました。色々な経験をしましたが、今となっては全て楽しい思い出ばかりです。退職後は盛岡に戻り、今は半分ボランティアで旧盛岡藩士桑田という団体に月11回勤務しています。楽しみは家庭菜園やゴルフです。本来旅行が一番の趣味ですが、コロナでこの2年間何処にも行けずに鬱状態となっています。一日も早いコロナ終息を願うばかりです



4. コラム 『新型コロナ感染に思う』

新型コロナが Covid-19- α から始まって。(オミクロン)、今はさらに次の変異へと進み急激に感染しやすくなってきた。当初の飛沫感染が空気感染といわれてきたのは本当だろう。知らずに感染し無症状で感染拡大に寄与してしまう。何時かは「新型ウイルスの・・・株」で収束するのだろうが、早く治療薬も現れ平常時に戻ってほしい。他人事として感染を考えていたが、いざ自分が感染してみても身近に危険が迫っていることを実感した。

小野寺 融



何株の感染か分からないが隔離 10 日間は病室から一步も出られずただただ治療もなく静まるのを寝て待つことしかできず不便さを味わった。幸いひどくならず今のところ後遺症もなく自宅復帰となり、以降 2 週間の自主隔離が終わったところです。確たる感染源を特定することもできず、ある日突然に喉の痛みと 38 度の発熱でかかりつけ医に行ったら診察室にも入れずいきなり PCR 検査そして翌日陽性判明、即入院隔離。三密回避とか感染予防を心掛けていたつもりだったが迂闊であった。何型の新型コロナウイルスかは解らないが皆様もお気を付けください。令和 4 年度も活動が制限され続けるのは御免だが、コロナとの共存活動を考えねばならない時期になってきた。知恵を出し合ひましょう。

5. 新たな会員の募集について

新規会員の紹介をお願い致します。会員増は会員の皆様の人脈だよりです。

本会報を使っても構いませんので、お知り合いの方へのお声かけをお願いいたします。

連絡先 事務局 志田満

携帯 090-2791-1803 e-mail mitshida.1029@docomonet.jp

6. 編集後記

白鳥の北帰行が始まった。何となく心寂しい気がする。夕方我が家の上空を「ククー、ククー」と鳴きながら北に向かって飛んでいった。また今年の秋に帰って来るからねと言っているようだ。岩手では白鳥は田んぼでよく見かける。湖などで優雅に泳いでいる姿よりは、田んぼで泥だらけになって、ヨチヨチと歩いている姿の方が一般的である。先



日「わが町ばんざい」というTV番組でも、田んぼから道路を横断している姿が放送されていた。ある専門家に言わせると、白鳥は水生植物やその根、ある時は水生昆虫や甲殻類などを食しているのが普通だそうだ。いずれにしても湖を優雅に泳いでいる姿とは程遠い気がする。しかしこの姿も本当の白鳥の姿だと思う。一方井の田んぼ、寺田の田んぼや上坊の牧草畑など、北帰行途中出休憩している姿を見かけると、がんばれよと一声かけたくなってくる。また秋に新しい家族とともに元気に帰ってきてくれることを願うばかりだ。

(志田)